

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



宿前にて。鳥の家はどこもパステルカラー。黒いブジョーよく走ってくれました。



南岸にある砂丘でレース後のリハビリ。海の向こうの砂漠を走った日々が戻ります。



日本人参加者と招待選手のセバスチャン・セニョー氏。実は一番仲良しの海外選手です。

その島に行きたいと思っ
たのは、今から27年前。初
めてパリ・タカールラリ
にバイクで参戦したもの
の、あえなく撃沈。呆然と
しながらタカールからパリ
へ戻る途中、トランジット
で寄ったのが、モロッコと
西サハラ沖に浮かぶグラン
カナリア諸島(スペイン)
でした。ヤシの木と優しい
風はどこまでも癒された私
は、「いつかまた来たい」
と強く思ったのですが、ま
さかトランのレースで来
るとは? しかも関門時間
が厳しくてなかなか定員が
埋まらないという玄人向け
の「トランスグランカナリ
ア125キロ」だったのだ
です。いい度胸をしていま
す。パリタカールに出た頃と
大して変わっていないか
も。

まず準備したのは、国際
制限ですが、最初はその流
ぶつ飛ばし。120キロ
ほどの高速道路(無料)の
急いでどこへ行くという
急いでどこへ行くという
急いでどこへ行くという



奇石のRoque Nublo。時間がな
いので撮った写真はコレだけ!

三好礼子
エッセイスト・国際ラリスト
~http://www.fairytale.jp/~

★三好礼子の★
ナチュラル・ロード

免状。バスが発達してい
るもの、その土地を知るに
はハンドルを握ってみるの
が一番です。2012年の
シャモニー以来の海外運転
なので、ワクワク。ヨーロ
ッパルなので、あまり
心配せずに向かいました。
周囲250キロ弱の島に
は、標高2千メートル弱の
山があり、その山岳地帯は
コースなので是非行きたか
ったのですが、結局ホテル
間の移動だけで時間切れ。
でも、レンタカーのブジョ
ー1208の燃料タンクがな
くなるほどは走り、それは
なかなかエキサイティング
でした。

スタートして驚いたのは、
「小さな島、そんなに
急いでどこへ行く」という
急いでどこへ行くという
急いでどこへ行くという

の速さに寄り道もできな
かった。詳細地図を買
いたくてもどこで降りよう
か悩んでいるうちに目的の
ラス・パルマスに着いてし
まい、直感だけで一方通行
をクルグルしているうちに
街を覚えてしまった。疲
れたが面白かった。最初の
2時間で、「高速ぶつ飛ばし
」(休憩所なし)「分岐け
つこう難しい」「一歩通行
の鬼」「有料パーキングは
高く、無料の路肩は命がけ
(空気がない)」などを学
習しました。中でもパーキ
ングは本土を遙かに上回る
の地獄のロータリーにな
るのかも。



トレイル・ロード・ビューで分る北から
南への縦断。温度はかなり暑くなりました。



大会ボーズで執念のゴール。本当によかった。
しかも意外と脚にダメージはなかった。

昨年出た知人のタイムから
計算すると、理論上はあり
えなかったのですが、なん
と29時間21分14秒でゴール
することができました。パ
リタカの奇跡が今ここで蘇
る。度胸だけでやって
きたグランカナリア、ドラ
イ中に立ち寄った教会で
じっくりお祈りしたのがよ
かったのかも。帰ってきて
思い切り風邪(まさにスベ
イン風邪)ひきました。ま
だだてんてん盛りの思い出に
浸っています。総合106位
/616人出走。女性クラ
ス46位/77人出走。完走率
は、総合84%、女子61%。

さて、運転にもグリグリ
駐車もすっかり慣れたこ
ろ、北側のアガエテからレ
イスがスタートしました。
気温は平均20度と最適で、
朝方の雲のお陰で暑くも寒
くもなく、素晴らしい環境
でした。サボテンと森のハ
ーブの香りと山羊たちに
会えるトレイルは走りやす
く、関門時間に追われるこ
とを除けば「最高!」。ス
ペインに攻められる前に住
んでいたグランチ人は洞窟
や石で作った円形の家に住
んでいたそうですが、彷彿
といたそうですが、彷彿
といたそうですが、彷彿

の、どの道も延々と人力
で岩を並べて整備されてい
ました。荷車が通れるほど
の幅があり、断崖絶壁のつ
づら折りで、その命の仕
事に首を垂れました。「や
るなあ」。

しかし楽しくて身体の調
子もよくなったけれど、私に
は時間がなかった。眠くて
幻想も見えただけ、夢と遊
んでいる暇はない。13ある
エイドでの猶予は最低で15
分という時もあり、慌てて
出発するを繰り返して、最後
までなんとかつなぎまし
た。30時間という制限は、

古今東西、人々は都市を
計画的に造るという営みを
繰り返してきました。この
ように造られてきた都市の
中で、街路はどのように計画
され整備されてきたのでし
ょうか?今回は、都市計画
の歴史を振り返りつつ、都市
の街路がどのように造られ
てきたのかを紐解いてゆき
たいと思います。まずは四
大文明の都市と街路をとり
あげてお話ししましょう。

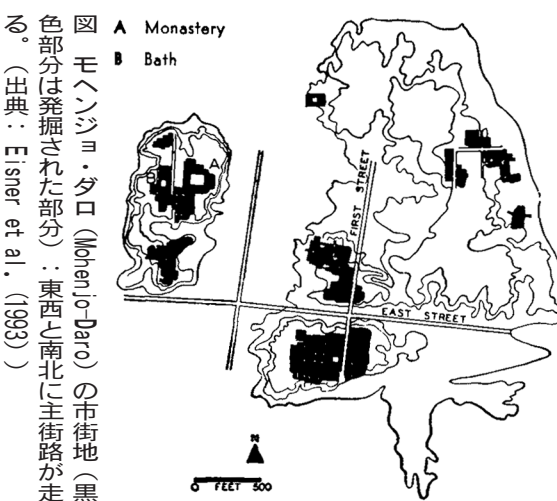
都市計画の中の街路①

四大文明の都市と街路

東洋大学国際地域学部・准教授
志摩憲寿

古今東西、人々は都市を
計画的に造るという営みを
繰り返してきました。この
ように造られてきた都市の
中で、街路はどのように計画
され整備されてきたのでし
ょうか?今回は、都市計画
の歴史を振り返りつつ、都市
の街路がどのように造られ
てきたのかを紐解いてゆき
たいと思います。まずは四
大文明の都市と街路をとり
あげてお話ししましょう。

紀元前3000年から紀
元前2000年頃にかけて
興ったエジプト文明、メソ
ポタミア文明、インダス文
明と黄河文明は、都市文明
の誕生と言えましょう。エ
ジプトでは紀元前3000
年頃に古代エジプト王国が
誕生し、メンフィスやテー
ベといった都市が栄え、王
が替わる毎に遷都が繰り返
された。メソポタミア
では、シュメール人によっ
てウルク、ウル、ラガシュ
などの都市国家がメソポタ
ミア文明を形成し、中でも
紀元前18世紀頃、ハンムラ
ビ王の時代のバビロニア王
国は首都バビロンを中心に
繁栄をみせました。バビロ
ンは、「バベルの塔」とし
ても知られる聖塔や大神殿
などを擁する聖域「エ・チ
メン・アン・キ(Etem
enanki)」を中心と
して、ユーフラテス河を跨
ぐ巨大な城壁と堀に囲まれ
ていました。都市の北側の
インシュタル門から軍隊行進
用の大通りが南下し、さら
に、城内には5本の大通り
があり、方形の街区が
形成されていました。



口は都市計画は10世紀にわ
たって維持されており、そ
こには、道路の段階的構成
やそれに応じた施設や住宅
の配置といった、今日の都
市計画にも通じるような技
術がみられたのです(「ちな
みにモヘンジョ・ダロは世
界遺産にも登録されていま
す」)。

さて、都市計画や道路整
備の技術といえば、アジア
諸国に大きな影響を与えた
中国を外すわけにはいきま
せん。今回は黄河文明とそ
の後の中国古代都市をとり
あげたいと思います。

参考文献:日端康雄(2008)
「都市計画の世界史」講談
社現代新書「Eisner, S. e
t al.(1983)『The Urban Pa
tern: Sixth Edition』Van
Nostrand Reinhold

「あかりをつけましょ
ぼんぼりに お花をあげま
しょ 桃の花」。雛飾りの
際にいつも一呼吸止めて
「男雛と女雛は、どっちが
どっちだったっけ?」と考
えてしまします。古来、
左右では左が上座とされて
いますから、向かって右が
一番席となり王様の席、つ
まり男雛となるのです。京
都では今もその様に飾られ
ています。しかし、現在ほ
ぼ一般的になっている関東
雛と言われる並びは、向か
って左が男雛、右が女雛で
す。近代の天皇家のお並び
からこうしたスタイルが広
まっています。おかしいじゃ
ない?と言いますと、「でも
ね、お話しだから・ね」。
「つまらない事を言わない
ぜ?」と愛人扱いでした。

(この件については、
その後調べてアホな
の理解をしたところであ
ります。)

細かい事が気になる
もので(ドラマの名刑
事みたいですね)、こ
れは生まれつきのクセ
のようです。

そうそう「クセ」と
言えば、これまたドラ
マ(北海道を舞台の)
の名セリフに、「病氣
は治るがクセは治らん。お
前のバカはクセだから一生
治らん」と言うお氣に入
りから。簡単なことと思
いますか?どうでしょう?

もう一つ、宇宙の映像
「クセ」が現れます。「そ
で、星が渦巻いている事
んな運動してたら、その内
に、「なんで渦巻くの?殆
どに事故をおこすぞ!」と思
う映像が左回りのものはな
い?」と不思議でした。

クセだからしょうがない
じゃなく、クセだからこそ
意識して注意しなければ
ならないのです。歩行者に
しても、スマホ歩きはクセだ
からでは、「事故にあうぞ
!」いや、「事故の引き
金にもなりかねないぞ!」
世の中には、地震、火山
噴火、台風、大雨、津波、
熱波、寒波などの自然災害
、天災と、交通事故をはじ
め、ビル倒壊危機や公害に
よる疾病などの人的被害に
くせがあります。人災は無
くせです。だつて人災です
から。簡単なことと思
いますか?どうでしょう?